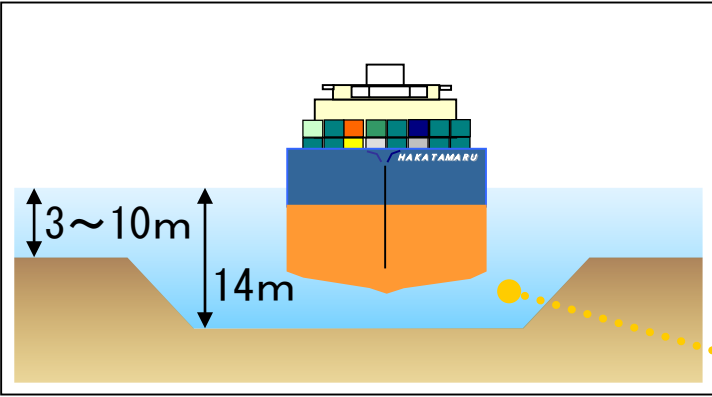


アイランドシティの概要



事業の背景



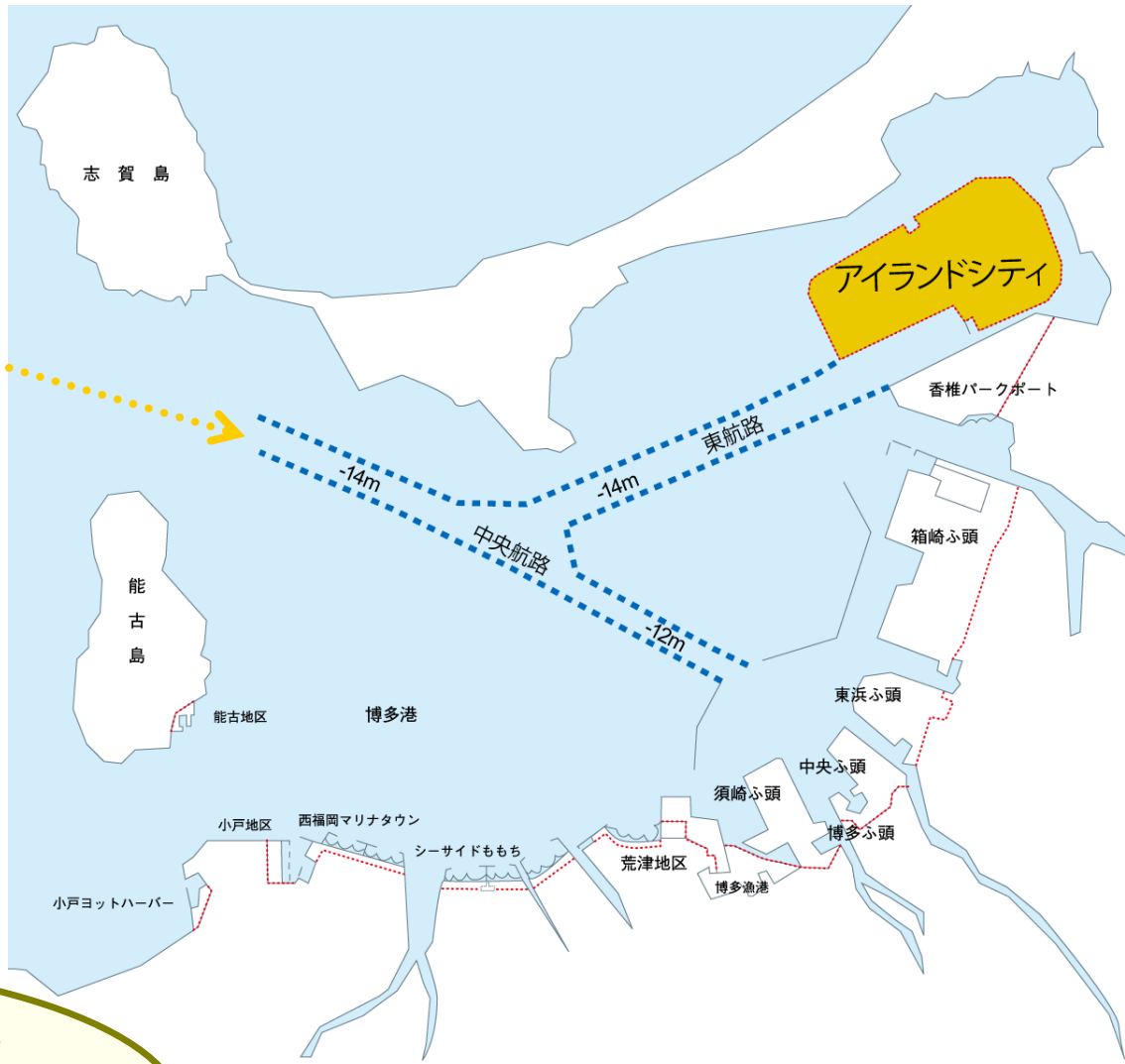
■ 水深の浅い博多湾

■ 航路整備の必要性

大型船が安全に博多湾に入れるように、海底を掘り（しゅんせつ）、船の通り路（航路）をつくる。

■ しゅんせつ土を埋立に有効活用

地下鉄工事や道路工事から出た土についても活用。



約400万³メートルの空間を生み出し、港湾機能を強化するとともに、先進的なまちづくりを進める。

事業の目的

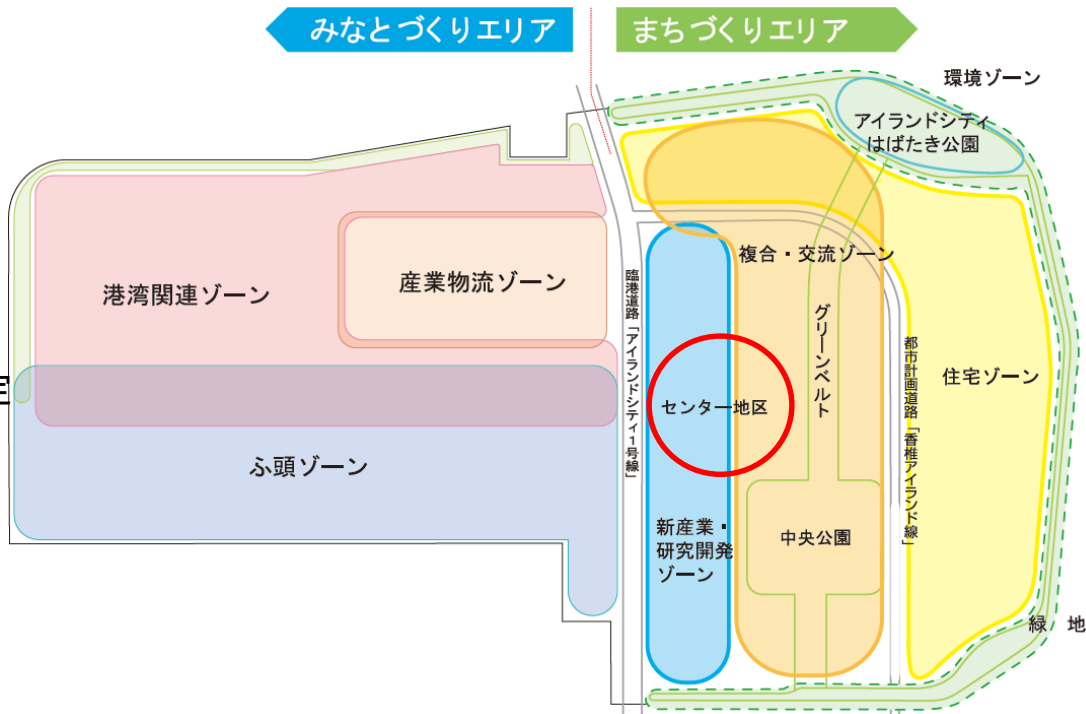
港湾機能の強化
暮らしや地域経済を支える博多港。世界とつながる国際物流拠点として港湾機能の強化を図ります。

新しい産業の集積拠点の形成
アジア、世界を見据えた新しい産業の集積拠点を形成し、福岡市の21世紀の活力を創造します。

快適な都市空間の形成
人と地球にやさしい住環境と活力あるコミュニティを創造します。

東部地域の交通体系の整備
海の中道地区への道路を整備することにより、和臼周辺の交通渋滞の緩和を図るなど、東部地域の交通体系整備に寄与します。

- 面積：401.3ha
- 総事業費：3,940億円（当初4,588億円）
- 事業期間：1994年度(H6年度)工事着手
～2029年度(R11年度)分譲終了予定
- 事業主体：国（約6.1ha）
福岡市（約298.0ha）
博多港開発株式会社（約97.2ha）



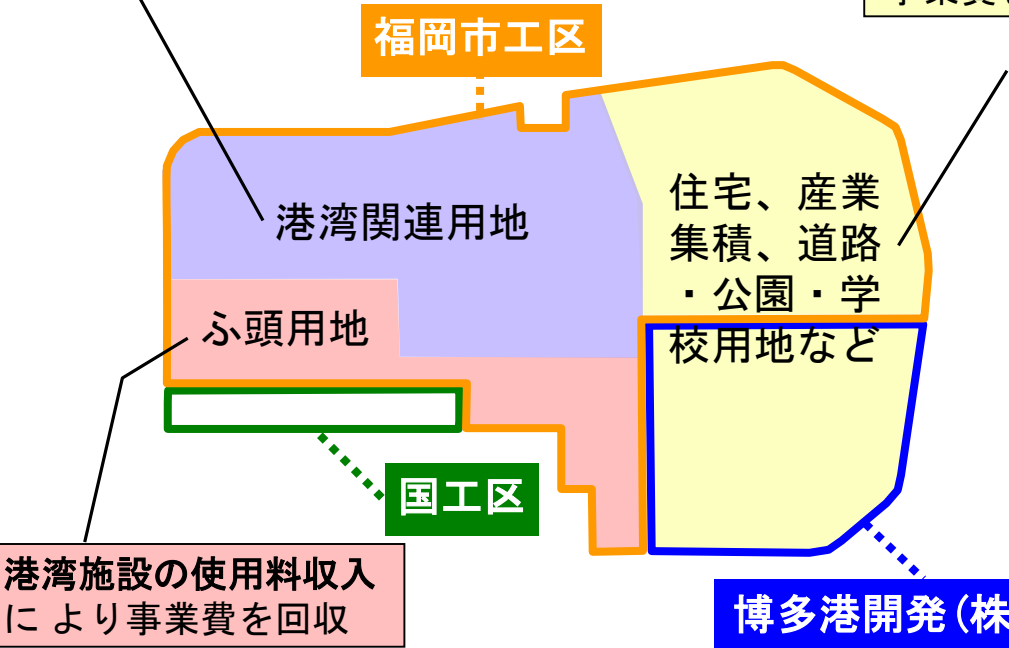
〈土地利用ゾーニング図〉

事業のしくみ・埋立の状況

事業主体	事業費	整備内容
国	704 億円	航路、泊地、大型岸壁
福岡市	2,591 億円	岸壁、護岸、道路、公園、緑地
		埋立事業
博多港開発(株)	645 億円	埋立事業
計	3,940 億円	

用地の分譲収入により
事業費を回収

用地の分譲収入により
事業費を回収



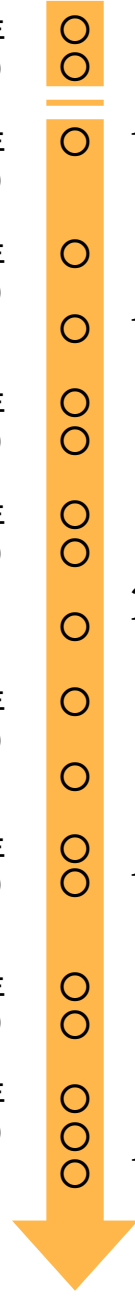
■ 埋立の状況

(単位 : ha)

	全体面積	竣功面積	進捗率
福岡市	298.0	297.6	99.9%
国	6.1	5.8	95.1%
博多港開発(株)	97.2	97.2	100.0%
合計	401.3	400.6	99.8%

事業のあゆみ

- 1994年 (平成6年)
 - 4月 公有水面埋立免許取得
 - 7月 埋立工事着手
- 2002年 (平成14年)
 - 10月 アイランドシティ主要幹線道路の供用開始
(臨港道路アイランドシティ1号線・香椎アイランド線等)
- 2003年 (平成15年)
 - 9月 国際コンテナターミナル(C1)水深14m岸壁の供用開始
港湾関連用地の分譲開始
 - 11月 上海～博多間高速貨物船(RORO船)就航(～平成27年12月)
- 2004年 (平成16年)
 - 3月 港湾関連用地への民間企業の進出
 - 4月 特定埠頭運営効率化推進事業の実施(コンテナミナル公設民営化)
- 2005年 (平成17年)
 - 3月 博多港開発(株)旧2工区の埋立権を福岡市が譲り受け(市5工区)
 - 9月 全国都市緑化ふくおかフェア開催(アイランドシティ中央公園)
 - 9月～11月 照葉まちびらきフェア開催
 - 12月 「照葉のまち」入居開始
- 2007年 (平成19年)
 - 4月 「照葉小学校」開校、「サイバー大学」開学
アイランドシティ中央公園全面開園
 - 6月 福岡ビジネス創造センター開設(～平成29年3月)
- 2008年 (平成20年)
 - 4月 照葉中学校開校(福岡市初の小中連携教育スタート)
 - 10月 国際コンテナターミナル(C2)水深15m岸壁一部供用開始
(岸壁から150mまで)
- 2009年 (平成21年)
 - 5月 股関節・膝関節外科病院開院
 - 7月 照葉公民館・老人いこいの家開館
- 2010年 (平成22年)
 - 1月 国際コンテナターミナル(C2)供用部分の拡張(岸壁から350mまで)
 - 4月 保育所開所
 - 10月 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)開設



- | | | | |
|------------------|---|-----|--|
| 2012年
(平成24年) | ○ | 10月 | アイランドシティ・アーバンデザインセンター 開設 (～平成29年3月)
「CO ₂ ゼロ街区」まちびらき |
| 2013年
(平成25年) | ○ | 3月 | あいたか橋 (海上遊歩道) 開通 |
| | ○ | 4月 | 高齢者複合施設 (地域密着型介護老人福祉施設・グループホーム) 開設 |
| 2014年
(平成26年) | ○ | 4月 | バス運行拠点施設 開設 |
| | ○ | 11月 | 福岡市立こども病院 開院 |
| 2015年
(平成27年) | ○ | 6月 | 高度・多機能型リハビリテーション病院 開院 |
| | ○ | 8月 | 温浴施設開設 |
| 2016年
(平成28年) | ○ | 2月 | 青果市場「ベジフルスタジアム」開場 |
| | ○ | 3月 | 産直マーケット等 開設 (～令和2年1月) |
| | ○ | 4月 | 小規模保育事業所 開所 |
| 2017年
(平成29年) | ○ | 4月 | 国際コンテナターミナル(C2) 全面供用開始 (岸壁から500mまで) |
| 2018年
(平成30年) | ○ | 1月 | 高度リハビリテーション施設開設 |
| | ○ | 12月 | 福岡市総合体育館 開館 |
| 2019年
(令和元年) | ○ | 3月 | バス営業所 (アイランドシティ自動車営業所) 開設 |
| | ○ | 4月 | 照葉北小学校開校 |
| 2020年
(令和2年) | ○ | 3月 | 商業・宿泊複合施設開設 (宿泊施設は同年11月開設) |
| 2021年
(令和3年) | ○ | 3月 | 自動車専用道路(アイランドシティ線)開通 |
| | ○ | 9月 | C2岸壁延伸部供用開始 |



2012年11月



2014年11月



2017年11月



2019年11月

アイランドシティの進捗状況



【みなとづくりエリア】



【まちづくりエリア】

アイランドシティはばたき公園
「自然の成長を学ぶゾーン」
令和6年度供用予定



- ### 【現状データ】
- **埋立りの状況**
進捗率 **99.8%**
〔令和5年3月末時点〕
 - **土地引渡りの状況**
進捗率 **84.8%**
〔令和5年3月末時点〕
 - **進出事業所数**
約 **280**か所
〔令和3年5月末時点〕
 - **就業人口**
約 **7,800**人
〔令和3年5月末時点〕
 - **居住人口・住宅供給戸数**
約 **14,300**人
〔令和5年3月末時点〕
約 **6,060**戸
〔令和5年3月末時点〕

凡例	
	令和5年度整備完了予定
	令和4年度整備完了(予定含む)
	分譲予定者決定
	引渡済
	貸付地
	緑地・公園
	港湾施設
	整備中

竣工済↑
↓未竣工

Dコンテナターミナル
令和5年3月供用開始



みなとづくりエリア

コンテナターミナル
(2023年3月供用開始)

岸壁
(2021年9月供用開始)

臨海部物流拠点の形成を図る区域

アイランドシティ

青果市場(ベジフルスタジアム)

D

C2

C1

内外貿ヤード

香椎パークポート

まちづくりエリア

■商業施設
(スーパーマーケット)
2018年2月 開業



■温浴施設
2015年8月 開設



■商業・宿泊複合施設
2020年3月 商業施設等開業
11月 宿泊施設開業



■福岡市総合体育館
2018年12月開館



■施設一体型小中連携教育校
2007年4月 照葉小学校開校
2008年4月 照葉中学校開校
2019年4月 照葉北小学校開校



■照葉公民館・
老人いこいの家
2009年7月 開館



2022年11月撮影



■バス営業所
2019年3月 開設



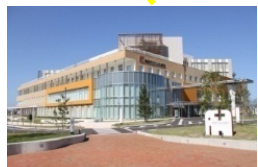
■高度・多機能型リハビリテーション病院
2015年6月 開院
■高度リハビリテーション施設
2018年5月 開院



■特別養護老人ホーム
2010年10月 開設
2013年 4月 増設



■シーマークビル
(オフィスビル)
2007年4月
サイバー大学 開学



■福岡市立こども病院
2014年11月 開院



■あいたか橋(海上遊歩道)
2013年3月 開通
※第26回福岡市都市景観賞
「市民賞」受賞

福岡市総合体育館

5,000人収容の
西日本最大級のアリーナ



- 2018年12月開館
- 地上4階建
- メインアリーナ
 - ✓ 客席数
固定席 3,176席、移動席 1,824席、車いす席 42席
 - ✓ 競技面
約3,160㎡ (45.0m×70.2m)
バスケットボール 3面、バレーボール 4面
バドミントン 16面、フットサル 2面
- その他施設
サブアリーナ、武道場、弓道場 など
- 駐車台数：約500台

- グリーンベルト (2018年10月供用開始)
ウォーキング・ジョギングルートや
ウォーミングアップ等で利用できる広場



グリーンベルト

福岡市総合体育館

商業・宿泊複合施設 (i s l a n d e y e)

■ MICE棟

大会議室 (1室 分割可)、中会議室 (3室)
コンサート等にも使用可能



■ シアター棟

歌劇ザ・レビューHTBの専用劇場
客席数：500席弱



■ 商業棟

■ (スーパー、アパレル、飲食店など)
フードホール：650席



■ ホテル棟

SORA 159室
UMI 199室



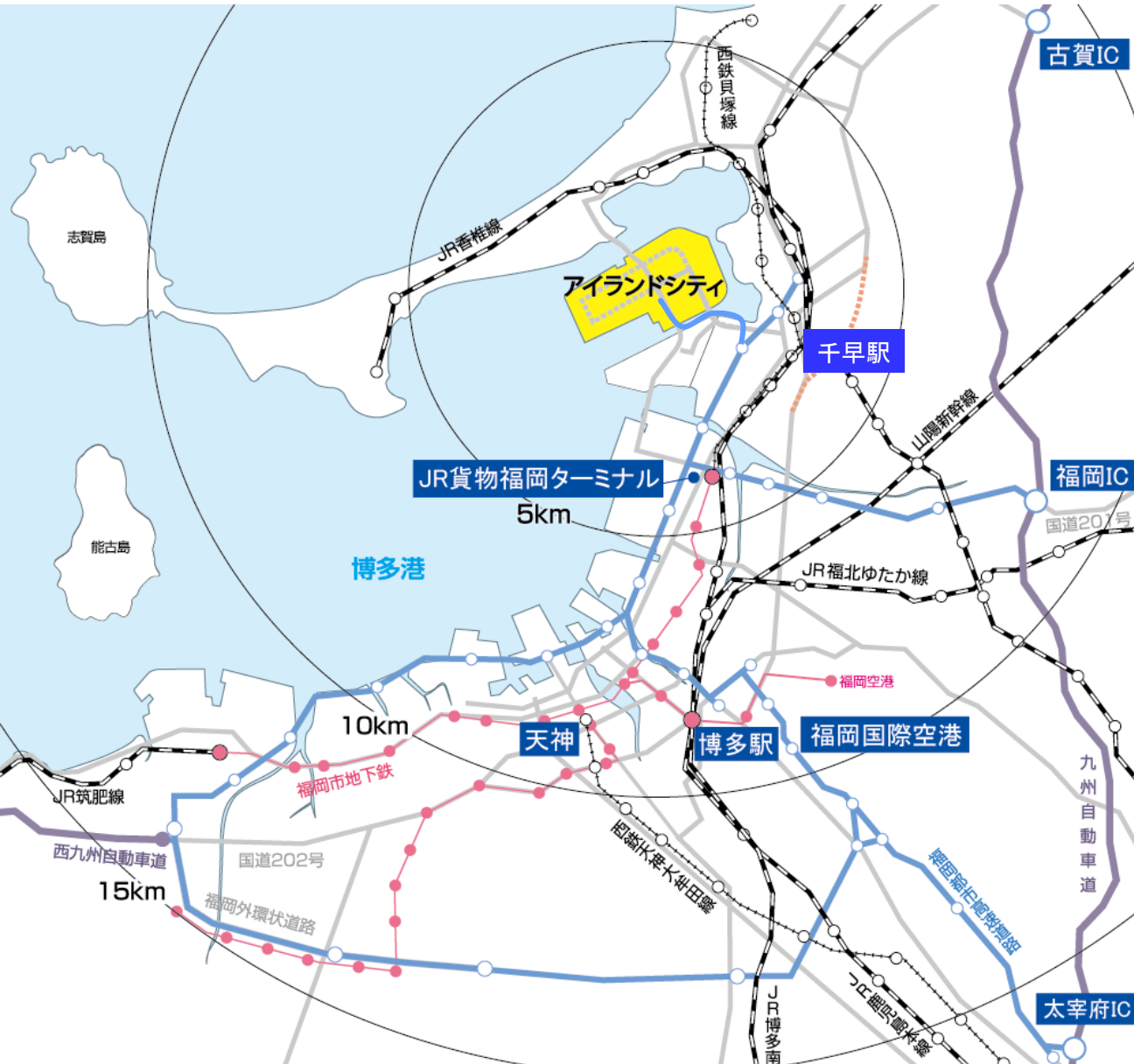
バス営業所（アイランドシティ自動車営業所）



- 2019年3月開業
- 開業に合わせ、約4割増便
 - ✓ 天神・博多駅方面（都市高速経由）
 - ✓ 千早駅方面
- 2020年電気バス導入



交通アクセス



陸海空の交通連結点が
半径10km圏内に

※アイランドシティへの
交通アクセス

- 天神から
 - バス 往復で205便/日
約20分(都市高経由)
(※2023.3改正)
 - 車 約15分(都市高経由)
- 博多駅から
 - バス 往復で62便/日
約30分(都市高経由)
(※2023.3改正)
 - 車 約20分程度
- 千早駅から
 - バス 往復で84便/日
約10分
(※2023.3改正)
 - 車 約10分

交通アクセスの改善

雁の巣レクリエーションセンター
前交差点改良
〔2012年3月完成〕

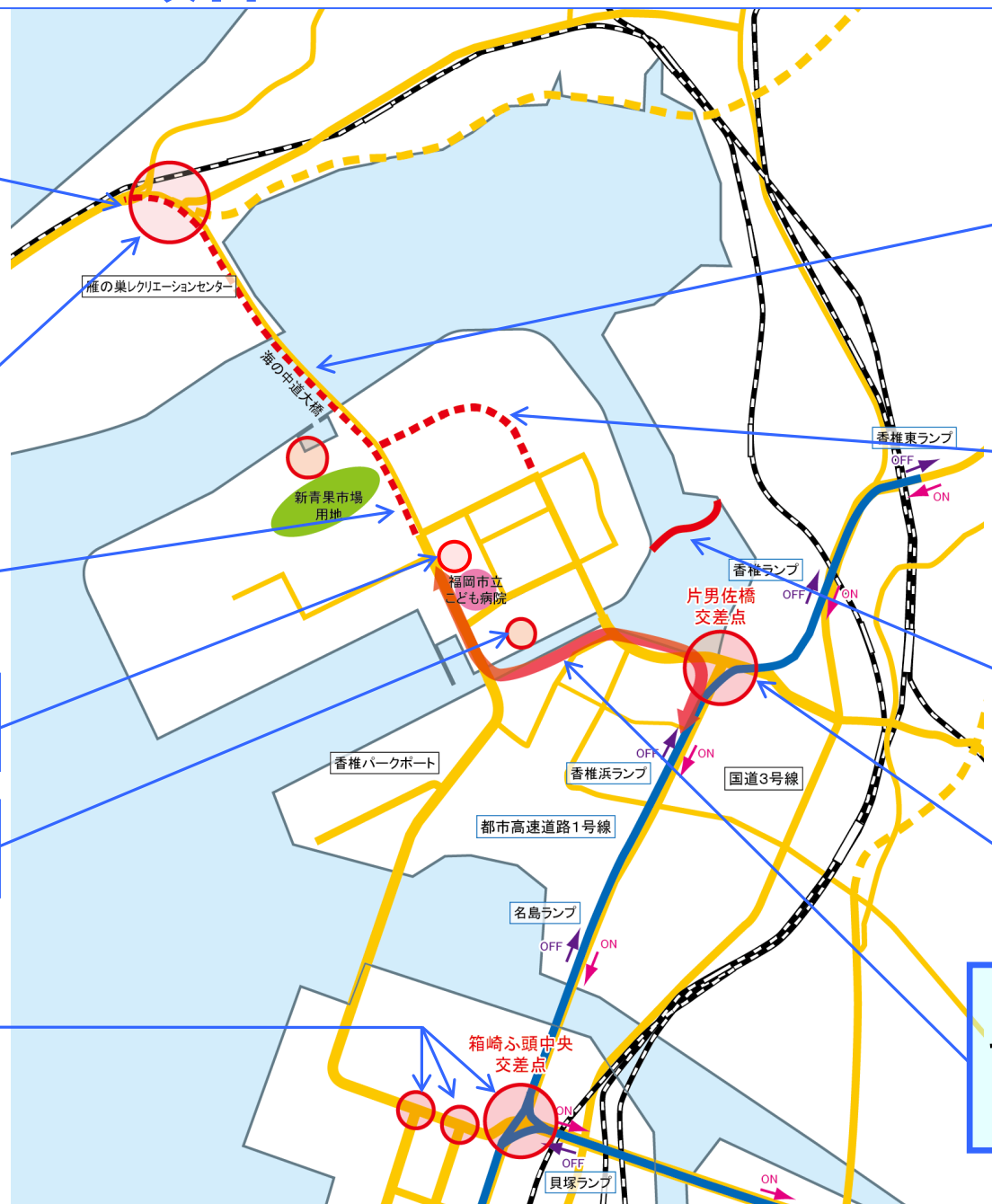
雁の巣レクリエーションセンター
出入口分散化
〔2012年4月完成〕

アイランドシティ1号線
6車線化
〔2016年3月完成〕

バス営業所
〔2019年3月開設〕

バス運行拠点施設
〔2014年3月設置〕

箱崎ふ頭中央交差点
等改良
〔2013年3月完成〕



海の中道大橋
4車線化
〔2014年3月完成〕

香椎アイランド線
の整備
〔2016年4月
4車線供用開始〕

海上遊歩道の整備
〔2013年3月完成〕

片男佐橋交差点改良
〔2013年3月完成〕

自動車専用道路
アイランドシティ線
〔2021年3月完成〕

「AI 活用型オンデマンドバス のるーと」の実証運行



■ 事業主体

ネクスト・モビリティ(株)
(株主：西日本鉄道(株)，三菱商事(株))

■ 事業主体

西日本鉄道株式会社

■ 運行期間

2019年4月25日～2024年3月31日まで

■ 運行エリアおよび運賃

- ✓ アイランドシティ内 (200円)
- ✓ アイランドシティ⇄イオンモール香椎 (300円)
- ✓ アイランドシティ⇄西鉄・JR 千早駅 (400円)
- ✓ アイランドシティ⇄御幸町 (400円)
- ✓ 千早駅・御幸町⇄イオンモール香椎 (300円)

■ 運行時間

平・土 6:00～22:00、日・祝 7:30～21:00

■ 使用車両

マイクロバス
<台数5台、乗客定員8人>

■ 特徴

- ✓ スマホアプリからリアルタイムで配車予約が可能
- ✓ AIが予約状況・渋滞情報等のデータを蓄積し、より効率的な運行を実現
- ✓ クレジットカードによる事前決済が可能
- ✓ 2日前から配車の予約が可能



自然との共生

- 干潟を残し、周辺の自然環境を保全するため、陸続きの埋立計画を島方式の計画に変更
- 周辺海域や海岸線をエコパークゾーンとして積極的に保全を図り、自然と触れ親しむことができる水辺空間として整備

1978年(昭和53年) 港湾計画



1989年(平成元年) 港湾計画





和白干潟

2021年11月撮影





福岡市港湾空港局アイランドシティ事業部事業管理課

TEL 092-282-7267

FAX 092-282-7044

【アイランドシティ魅力紹介サイトWonderful One】

<https://www.city.fukuoka.lg.jp/kowan/jigyokanri/shisei/wonderfulone/top/top.html>

